

## 第2回 富良野市文化財保護審議会 顛末

と き 令和6年8月7日(水) 13:00~17:00

ところ 芦別市内

出席者 委員: 杉浦重信(委員長)、永盛俊行、芝野伸策

事務局: 澤田所長、泉職員

---

### 1. 視察研修先の概要説明

移動車中にて添付資料を説明

### 2. 報告事項

移動車中にて以下報告

- (1) 島田家住宅主屋の登録有形文化財登録証の伝達式 5月1日
- (2) 市指定文化財等パトロール 4~5月上旬
- (3) 蒸気機関車フラヌイ号お手入れ体験会 7月13日
- (4) その他の報告事項

- ・第1回審議会にて杉浦委員長よりご意見あった「富良野市文化財リスト」の更新。添付資料を配布し確認を依頼、修正あればご連絡いただくこととする。
- ・旧河村合名酒造酒蔵(旧炭火焼肉 YAMADORI)の石造倉庫は、市内事業者により焼肉屋としてリニューアルオープンの予定。
- ・JR山部駅旅客詰所は生涯学習センターで保管・展示を希望予定

### 3. 視察研修

芦別市星の降る里百年記念館の山口係長・学芸員にご案内と解説を依頼、芦別市の指定・登録文化財のうち、次の7件を視察した。また記念館では常設展と企画展も見学し、研鑽を深めた。

#### ①旧三井芦別鉄道炭山川橋梁(登録有形文化財)

終戦間際の石炭増産を目的に建設、昭和20年に完工した三井鉱山(株)専用鉄道の橋梁で、深い溪谷のため橋台は高さ30mにも及ぶ。レール上にはディーゼル機関車と石炭貨車1台が展示される。炭山川橋展望広場にて見学し、設置の経緯やメンテナンスなど様々なエピソードを伺った。

#### ②旧頼城小学校校舎・同体育館(登録有形文化財)

昭和29年に三井鉱山(株)が工費を負担、煉瓦70万個を用いて建設された大型の煉瓦造、一部RC造の校舎と木骨トラス組が美しい木造体育館。平成20年にそれぞれ個別に登録された。膨大な数の煉瓦を積み上げるため、道内はもとより道外からも職人を集めて建設されたという。校舎の配置は「山」の字を模して建設、一線校舎の廊下は106mにも及ぶ。昭和33年には児童数2,214人、41学級のマンモス校だった。三井芦別鉱山閉山後の平成14年に閉校。同16年に芦別市が誘致した通信制の星槎大学の所有・管理である。

体育館の木骨トラスは水平に並べた角材を横一直線にしてボルトで仮締め、建物中心の梁をクレーンで吊って人力で屋根の角度を調整し、最後に職人が梁伝いにボルトを締め上げ固

定する手法で造成された。当時はこの体育館の玄関が児童玄関として使われていたという。

③旧干場家レンガ倉庫(市指定文化財)

木骨煉瓦張りの土蔵。煉瓦は長手積みのみで構成される。軒蛇腹や土台直上は焼成煉瓦を使用する。市内最古の煉瓦建築物。

④黄金水松(道指定文化財)

推定樹齢 1,700 年の巨木。イチイでは全国 8 位、道内 2 位の太さを誇る。幹回り全周から枝が張り出し、樹齢 1,700 年とは思えないほどの活力を感じさせる。公園内は町内会のボランティア活動によって極めて美しく整備されている。

⑤滝里遺跡群出土遺物(道指定文化財)、毛抜形太刀(市指定文化財)

滝里ダム建設工事に伴う発掘調査で出土した滝里遺跡群の続縄文時代初頭に属する墳墓出土遺物。大量のコハク平玉が出土しており、特筆すべきはクマ形石製品を伴う例もある。

毛抜形太刀は昭和 28 年に野花南木村遺跡で発見されたもので、アイヌ男性の副葬品と推定される。奈良平安時代の例を室町時代以降に復古調的装飾刀として造られた可能性があるという。

⑥その他

百年記念館の展示物を見学。また前館長で学芸員の長谷山隆博さんの追悼展も見学。

#### 4. 総括

芦別市には北海道指定 4 件、芦別市指定 4 件、国登録有形文化財 3 件の合計 11 件の指定・登録文化財がある。種別としては有形文化財(考古、建造物)、無形文化財、史跡、天然記念物があり、バラエティがある。このうち旧頼城小学校以外はすべて公開されており、芦別市の観光資源としても活用されており、いずれも丁寧な管理が行き届いている印象を受けた。今回、山口学芸員にご案内いただき、有意義な視察研修会となった。

本市の場合、その取り組みは途上にあるとはいえ、指定 4 件、登録 1 件と件数がまだ少なく、石碑などの記念物が主体であるため、活用が進んでいるとはいいがたい(北海道中央経緯度中心標は別として)。北海道内の自治体の多くは本州に比べて、指定・登録が進展していないのが実情で、本市においても引き続き地域固有の文化財を洗い出して磨き上げ(調査研究と市民共有)、指定・登録を進める必要性をあらためて感じる機会となった。今回、審議委員とともに視察研修し、学び感じ取った思いを今後の審議会における議論に活かし、指定・登録物件の調査研究と検討を重ねて参りたい。くわえてこうした他自治体の事例視察研修の機会を継続し、本市の文化保護事業推進にあたっての肥やしとしたい。

#### 5. 今後の予定

第 3 回委員会：11 月を予定

議題：令和 7 年度事業計画について